

## デマンド交通事業者ヒアリングについて

デマンド導入に対して事業者の現状や考えを聞き、事業者が運行するうえでの課題を把握する目的で市内交通事業者3社にヒアリングを実施。

### 1. 主なヒアリング項目

- 現在の人員体制について
- 現在の保有車両の種別と台数
- デマンド交通に利用する車両の確保について
- デマンド交通に関する意見

### 2. ヒアリング結果（総括）

市内交通事業者の人員、車両ともに現状を維持するための体制となっており、新たな投資を行うのが厳しい状況ではあるが、運行時間帯や採算性を考慮したうえで判断する。

### 3. 運行するうえでの課題

- デマンド運行に従事する職員については、運行時間帯により職員の割当ての可能性を判断するか、新たな雇用をするかが必要となる。
- 乗務員を募集しても集まらない状況であり、人材確保が難しい。
- デマンド車両については、現在、保有しておらず、事業リスクを考慮すると市が車両を確保しなければ運行することはできない。
- 運転手及びオペレータ（受付）の人材育成に時間と経費がかかる。
- 効率的なバス路線の再構築の検討。